

令和6年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

事業名：TATElab 家具及びアート作品制作

団体名：株式会社スキーマ



事業の目的・内容

秩父地域の木材（秩父材）を活用した家具やアート作品の開発・発信を通じて、地域資源への関心を高め、木材活用の新しい可能性を広げることを目的としています。特に、TATE Lab.（横瀬町に拠点を置く五感拡張型クリエイティブ制作室）を舞台に、以下の取組を実施しました。

- 家具ブランド「あたまのいす」のブランディングとプロモーション
- 新商品の開発（BBKK 木馬）
- 各種デザイン賞や展示会への出展による発信・販売促進
- 地域材の活用促進と価値の可視化



今までの活動状況

時期 取組内容

6月 グッドデザイン賞一次審査（惜しくも落選）、植樹祭イベント出展

7月 ウッドデザイン賞エントリー

10月 ウッドデザイン賞受賞（ソーシャルデザイン部門）

10月 イケ・サンパークファーマーズマーケット出展

12月 ウッドコレクション出展

2月 おもてなしセレクション エントリー

家具開発 新作「BBKK 木馬」開発

その他 秩父材を活用したサウナ試作検討

場所・成果

イオンレイクタウン

TIS社・横瀬町と共同

全国的な評価獲得

東京都豊島区

東京ビッグサイト

結果待ち

五感を刺激する体験型家具

実験的取り組み



これからの活動・行事

- 家具ブランド「あたまのいす」のブランド価値確立と認知向上
- 新作開発（BBKK 木馬など）によるグッドデザイン賞再挑戦
- 地域資源を活用したパブリックアート制作（公園・水辺などへの展開）
- 展示会・イベントへの継続的出展
- 地域内での資源循環モデルの構築（横瀬町と協議中）
- サウナプロジェクトなど木材の新たな利活用の検討